

2021年3月14日に第11回全国大会を本学会初のオンライン開催致しました。基調講演、研究発表、ワークショップと3部に分けた構成で94名の方に全国からご参加いただきました！学会の様子と参加者様のアンケートが揃いましたので、次回福岡オンライン大会の参考になればと思います！ぜひご覧ください！



## 学会参加者の声

(無記名アンケートより)

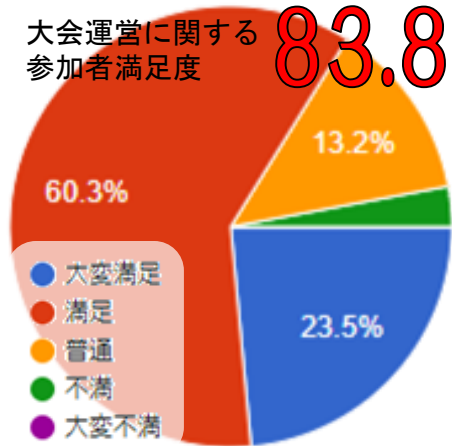
「オンラインではありましたが、ひとりひとりの距離感が近く感じるような大会でした。発表者と事務局、司会との連携もスムーズでした。」

「開始時、音が聞こえないなど不安がありましたが、運営メンバーとのメールやり取りで接続不良も解消でき、助かりました。トラブル発生時の相談先が事前に明記されていたことで、安心して参加できました。子育て中のMSWIには、自宅からの参加ありがたいです！」

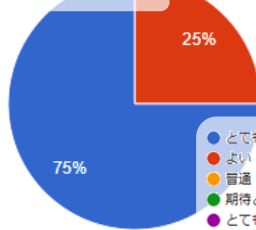
## 満足度調査結果

大会運営に関する  
参加者満足度

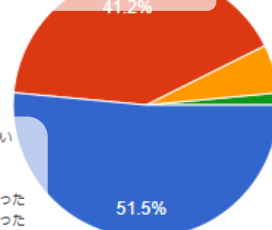
83.8%



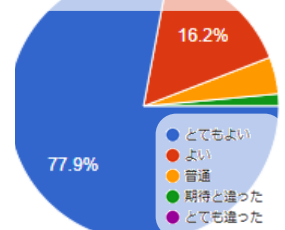
## 基調講演の感想



## 研究発表の感想



## ワークショップの感想



## 学会参加者の声

各プログラムも大変ご好評いただきました！  
「基調講演も非常にタイムリーな内容で、今後の業務に役立つと思えました。」  
「研究発表の内容について、意見交換ができる時間がもう少しとれるといいと思いました。普段であれば休憩時間などでプログラム外で意見交換できますが、WEBだとそれができないので、もう少し時間があれば良かったかと思います。」

## その他のご意見

「ワークショップ講師の資料に感動しました！とても貴重な時間となりました。」  
「学生なのでグループワークで普段お話できないような方から直接貴重なお話を伺うことが出来てよかったです。」  
「休憩が少なかったので、いささかヘビーでした。」  
たくさんのご意見ありがとうございました！  
今後の運営に活かしていきたいと思えます！

## 次回開催案内

2021年9月4日 (土) 14:30~

2021年9月5日 (日) 12:45予定

4日のプログラム終了後にオンライン懇親会予定

更にレベルアップした福岡大会にぜひご参加ください！

## 大会公式ポスター



日本医療ソーシャルワーク学会  
The Japanese Society of Medical Social Work

第12回 全国大会

福岡  
オンライン開催

日時 2021年9月4日 受付14:00~ 開会14:30~ 5日 受付 9:00~ 開会 9:20~ 終了 11:45~  
大会長 浦川 雅広 (飯塚病院)

事務局 早稲田大学 医療社会福祉学  
福岡県福岡市南区西の宮2-2-50  
TEL: 092-882-1605

1. 地域でつながりを作っていくということが大きなテーマとなっていると感じたので、つながりづくりに関する研究や講演が聞きたいと思いました。
2. 広島ならではのソーシャルワーク、生活史を聴きとる意味などを学び、今後ソーシャルワーカーとして人と関わる際、その人が何を大切にしているのか把握していこうと思いました。
3. 地域共生のあり方について改めてお話を伺い、私たちSWの担うべき役割を再認識しました。日々の業務の中で意識して取り組みたいと思います。
4. 初めてオンラインの研修会に参加しました。グループワークまでできることにおどろきました。グループワークの時間がもう5分長いとよかったな、と感じました。1日中の研修はちょっと疲れましたが、内容は充実していたと思います。
5. 人口・資源減少の中で、これから幅広く持続可能なサポート体制を築いていくための方策
6. 身寄りのない人への支援について、基調講演でビッグデータを取り扱うことは、現状を知りこれからの姿勢を考えるためのいい機会になったと思います。ワークショップについては、原爆被害者の方の体験を聞くことは非常に貴重であり、生活史を聴き取ることは本人を理解するために役に立つと感じました。
7. とても良い内容でした。研究発表の方々は初々しい内容でした。何年目だったのでしょうか？
8. ワークショップ（生活保護）では事例を基にした設問をグループで議論する形式でした。資料に前もって根拠法が抜粋してあり、ケースに当たったことのない参加者も見ながら考えることができました。救急指定病院のmswなど実際ケースに当たっている参加者からは現場で起こっていることを聞くことができ「これって地方ルールかも」など全国からの参加者と話ができるよい時間となりました。今回ワークショップに参加して、ケースワーカーもクライエントの支援者の一人であり相談・交渉していく大切さを改めて感じました。
9. ワークショップではファシリテーターの方を準備いただいたおかげで、参加者の発言が積極的になされているように感じ、大変勉強になりました。
10. 基調講演もワークショップもとてもわかりやすく、理解を深めることができました。明日からの実践にも役立つ内容で参加してよかったと思います。
11. 研究報告が8人だったので2つに分散しないと、通常の対面式よりも時間が長くなって質疑応答の時間を確保出来なかった。また、研究報告の際の司会者が話をし過ぎ。一言のコメントならまだしも、参加者の皆さんの参画を遮るかたちとなっていて残念でした。
12. せっかく今回地域共生社会のまちづくりを学んだので、みんなの取り組みや課題についてなど共有していきたいです。
13. 基調講演は1時間に質疑20分程度あると、より詳しく伺えたかと思います。医療ソーシャルワーカーに引き寄せた具体例まで紹介して頂けると有難かったです。生活保護のワークショップは、講義を聴くだけでなく、資料を参照しながらグループで考えることができ理解が深まったと感じました。ファシリテーターとして参加者それぞれの生活保護に関する現場経験が異なる中で、皆さんに発言して頂けるよう取り組みましたが、グループの皆さんがどう感じられたかは…わかりません。
14. 今後のテーマ 病院にいても、退院支援という枠にとらわれずに、地域に役立つ業務を展開することについて。業務指針で言えば、地域活動に関すること。
15. 発表者も、参加者も、オンラインを用いた本研修は初めての人が多い中、貴重な話が聞けたりグループワークが行えて有意義な時間でした。気づきとしては、発表者は周困がざわざわしている環境だと、騒音や雑音が聞こえてしまうので、個室のような静かな場所が良いということ。
16. 下手さんの話は、すごくわかりやすく、実際の業務に照らし合わせた説明で、実務に反映できそうで、非常に勉強になりました。年金申請、難病患者の支援等について、学ぶ機会があればと思います。